

分野	長寿安心くまもと	戦略	県民一人ひとりが人権を尊重され、健やかに生き甲斐を持って力を発揮できる社会
		重点的に取り組む施策	健康増進・長寿づくりの推進

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
1	健康増進計画推進事業	10,657 7,580	県民が健やかで心豊かに生活できる社会を築くため、くまもとヘルスプラン推進委員会の開催、熊本県健康増進計画の普及・啓発を実施する。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまもと21ヘルスプラン推進委員会を1回開催。歯の健康づくりを地域で進める8020推進員を207名養成した。運動普及では市町村の事例紹介(運動普及推進員、総合型スポーツクラブ)を実施。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進計画の進捗管理及び第3次くまもと21ヘルスプラン策定のため生活習慣実態調査を実施する。
	健康づくり推進課	10,612		
2	ヘル歯一元気8020支援事業	4,800 4,328	子どもの頃から生涯を通じた適切な生活習慣の定着を図るため、学校関係者の指導者講習会、歯周病予防に関する公開講座を実施する。歯周病予防のため医療機関連携のための研修及び検討会を実施する。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯周病ハイリスク者を支援するための医療機関連携検討会・連絡会を実施し、地域医療連携バスの検討を行った。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯と全身の健康や歯周病予防については、医科と歯科の連携が重要であり、天草、菊池地域で作成した医科と歯科の連携バスの周知を図るための講演会及び連携バス評価会議を実施する。
	健康づくり推進課	4,300		
3	健康食生活の推進(健康増進計画)	6,792 5,290	<ul style="list-style-type: none"> ・くまもと21食生活指針の普及啓発 ・健康食生活のための人材育成 ・健康食生活の環境整備事業 ・健康食生活の推進検討会 健康食生活の推進検討会 健康食生活の推進に係る評価検討事業 	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行政栄養士新任期育成支援プログラム」の策定 ・従事者の人材育成のための研修会(全保健所で開催:45回1,628名) ・健康づくり応援店の指定拡大(H22末 265店舗) <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康食生活を生活の場に根付かせるための人材の育成とネットワークの構築を進める。
	健康づくり推進課	6,792		
4	親子健やか生活習慣定着事業	5,000 5,000	小学5年生又は6年生とその親に対して、ヘルスプロモーションの理念に基づき、食生活と運動の両面から生活習慣病予防のためのアプローチを実践し、親子の健やかな生活習慣の定着を図る。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子健やか生活習慣定着戦略会議の開催 ・親子で生活習慣病予防事業の実施 ・子ども用学習教材の改定 ・事業報告書及び事例集の作成 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業はH22年度で終了。今後は、これまでの事業の成果をふまえ市町村での実施を働きかけるとともに、食育推進のためのツールとして子ども用教材集の活用を図る。
	健康づくり推進課	-		
5	食育総合推進事業	3,490 1,418	<p>「食」は命と健康の基本との認識のもと、ライフステージに応じた食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるとともに、地域の産物や食文化への理解を深め、健全で豊かな食生活の確立と実践をめざす。</p> <p>H22年度に県民の食に関する総合計画として策定した「熊本県健康食生活・食育推進計画」に基づき、健康食生活や食育の推進を図る。</p>	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次食育推進計画の成果と課題をふまえ、県民主役の食の総合計画へと見直しを行い「熊本県健康食生活・食育推進計画」を策定した。 ・食育子ども特派員159名を任命。学校、家庭、地域で食育活動を実施し、県内各地に食育の大切さを広めた。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体との協働と役割分担による健康食生活・食育の推進(モデル事業の実施) ・ライフステージに応じた具体的な取り組みを保健所単位で展開する。 ・健康食生活や食育を生活の場に根付かせるための人材の育成とネットワークの構築(食育応援団の結成)
	健康づくり推進課	2,953		
6	県民元気アップ食生活強化事業(県産品を使ったヘルシー弁当による生活習慣病予防)	2,508 2,508	<p>生活習慣病予防の観点から、低関心層も含めたポピュレーション全体へのアプローチのツールとして策定された食事バランスガイドに基づき、勤労世代が喫食する弁当をヘルシー化し提供する「弁当を通じた体験学習」と、栄養・健康情報に関するメッセージカードによる情報提供を組み合わせた栄養教育をモデル事業として実施。</p> <p>ヘルシー弁当の食材は、なるべく県産品を活用したもので開発する。</p>	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルシー弁当(60食)を県栄養士会委託により開発 ・モデル事業の実施(4事業所、176名) 体重及び腹囲減少の効果 ・事業報告会を開催 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業はH22年度で終了。今後は、モデル事業の成果と課題とともに、勤労世代への生活習慣病予防のポピュレーションアプローチの展開を図る。 ・企業や組合健保等に対するモデル事業プログラムの普及 ヘルシー弁当レシピの外食、中食での活用
	健康づくり推進課	-		

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
7	高齢者元気アップ食生活強化事業 (H22は「県元気アップ食生活強化事業」) 健康づくり推進課	2,296 1,872 4,431	65歳以上の高齢者のうち、施設等に入所せず、主に自宅で生活している方が、引き続き在宅生活を継続できるように、口腔機能や嚥下機能の低下、孤食による食欲の低下に伴う低栄養を予防する。高齢になっても自宅での生活が継続できるような高齢者にやさしい食環境の整備に向け、高齢者の食生活に関する課題やニーズ把握のための調査を行う。	平成22年度の実績、成果 ・食生活改善推進員連絡協議会への委託による低栄養予防のための「いきいき実践活動」の実施(23拠点、216回、延べ3,440名参加) ・高齢者用学習教材の開発 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・モデル事業の成果をふまえ、「食の縁がわプログラム」の地域全体への展開を図るとともに、教材及び教材集の作成および活用のための研修会を開催し、高齢者の低栄養予防のためのツールとして普及させる。 ・食品業者等と協働した事業(ニーズ調査)の実施や、ヘルシー外食推進連絡協議会を活用した課題解決策の検討等をおし、食品業者における高齢者にやさしい食サービスの開発や提供の取組みを推進する。
8	市町村健康増進事業 健康づくり推進課	56,074 41,295 50,321	県民の健康づくりの総合的な推進体制の整備を図るため、市町村が実施する健康診査、機能訓練、訪問指導等の支援を行う。	平成22年度の実績、成果 ・市町村が実施主体となり住民に配布する健康手帳の作成、住民向けの健康教育や健康相談等を実施した。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・市町村が実施主体となり住民に配布する健康手帳の作成、住民向けの健康教育や健康相談等を実施する。
9	むし歯予防対策事業 健康づくり推進課	- - 9,600	「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」及び「熊本県歯科保健医療計画」の理念に基づき、喫緊の課題である子どものむし歯対策を進めるため、乳幼児、児童生徒を対象にしたフッ化物を用いたむし歯予防対策を実施する市町村に対し、事業費の一部を助成する。	平成22年度の実績、成果 - 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・市町村に対して乳幼児を対象にしたフッ化物塗布の実施を促す。保育施設及び学校におけるフッ化物洗口について、市町村・教育委員会・関係団体と連携を図りながら関係施設への取組みを促す。
10	メタボリックシンドローム予防戦略事業 健康づくり推進課	1,794 749 1,794	県民の生活習慣病の予防・生活習慣の改善に着目した健康づくりを推進するための以下の事業 ・メタボリックシンドロームにかかる普及啓発 ・健やか生活習慣くまもと県民運動の推進(健康づくり県会議の開催、キャラクターを用いた啓発等) ・県及び2次医療圏毎に連携協議会を開催し、地域と職域の連携による健康づくりを推進する。	平成22年度の実績、成果 ・県政ラジオ番組を活用してメタボリックシンドロームの予防、特定健診受診勧奨等実施。県会議(構成団体43団体)では取組テーマを「健康チェック健診受診率の向上」とし、キャッチコピーを公募。ポスターを作成し構成団体に周知啓発を依頼した。県及び圏域毎に地域・職域連携協議会を開催し、特定健診の受診率向上策、糖尿病予防対策、健康づくり等について協議し健康づくりの意識向上を図った。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・特定健診受診率が低いことが課題であり、受診勧奨の広報啓発の実施や、保険者協議会への参画等を通じて、受診率の向上を図る。 ・県会議や地域・職域連携推進協議会の開催により受診率向上のための具体的な方策について検討していく。
11	特定健康診査等実施事業 健康づくり推進課	305,026 262,522 341,484	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき市町村等が行う、特定健康診査及び保健指導に対する補助金を交付する。補助率は、国、県、市町村がそれぞれ1/3である。	平成22年度の実績、成果 ・県内45市町村と2国民健康保険組合に対し、補助金を交付した。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・今年度も、引き続き市町村等が行う特定健康診査及び保健指導の円滑な実施体制を整備する。
12	健康増進事業指導事務費 健康づくり推進課	2,144 1,128 2,006	子どもの頃から生涯を通じた適切な生活習慣の定着を図るため、市町村が実施する健康増進事業、生活習慣病予防対策及びがん予防対策・受診促進等について実態を把握し改善を行う。	平成22年度の実績、成果 ・市町村健康増進計画の策定率がH22年度末60%となった。 ・市町村が実施する健康増進事業等の状況のヒアリングを実施し、課題の整理とともに改善点を助言した。 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・市町村によって、実施していない事業があり、県民が等しくサービスを受けられるよう、今後市町村ヒアリングを実施し改善する。
13	がん検診受診促進企業連携事業 健康づくり推進課	8,500 3,575 9,054	県民の生活習慣病の予防・生活習慣の改善に着目した健康づくりの推進及びがん検診受診率の向上を図るため、がん予防や検診受診率の向上に理解ある企業・団体を募集し、県と協働してがん予防の啓発や職域での人材育成等を実施する。	平成22年度の実績、成果 ・がん検診受診促進企業協定を12社と締結。協定企業による県民向けのがん検診啓発事業の実施。 ・協定企業の職員を対象にがん関係研修会の実施。 ・がん予防推進員を85名養成 事業推進上の課題、今後の改善の方向性 ・協定企業を増やし、職域からのがん検診受診率向上を図る。がん予防である禁煙対策についても企業と連携して実施していく。 2次医療圏毎の職域と連携したがん検診受診の研修会、イベントを行う。

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上: H22予算 中: H22決算 下: H23予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
14	糖尿病予防総合対策事業	1,823 758	増加する糖尿病の発症、重症化、合併症予防のため、熊本、県医師会等、関係機関と連携し、糖尿病保健医療連携体制を2次医療圏毎に整備する。	<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次医療圏毎に糖尿病保健医療連携体制を整備するために熊本県糖尿病保健医療連絡会議、市町村、健診機関及び医療保険者等を対象とした事業検討会、圏域毎の関係者連絡会議を開催。圏域毎に関係者のネットワークづくりが進み、連絡ツールの検討など具体的な体制づくりが進みつつある。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き圏域毎の関係者連絡会議を開催することで、具体的な連携体制を整備していく。そのために県においても熊本県糖尿病対策推進会議や熊本大学医学部附属病院と連携し医師会や栄養士会、健診機関等に対して本事業についての理解を深めていく。
	健康づくり推進課	1,823		<p>平成22年度の取組みの実績、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊大病院に補助。熊大病院にコーディネーター（特任助教）を1名配置。そのコーディネーターが中心となり糖尿病専門医や療養指導士、糖尿病連携医の研修等を実施。また各圏域においては、保健所や市町村、都市医師会等と連携しながらネットワーク研究会を開催。医療スタッフ向けに研修情報等を集約したホームページ作成。 <p>事業推進上の課題、今後の改善の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、熊大病院に補助し糖尿病医療スタッフ等の人材育成、圏域毎のネットワーク化を推進。平成22年度に本事業で作成したフローチャートやホームページ、啓発用チラシ等の普及啓発を図り具体的な保健医療連携体制のツールとして関係者に活用を促す。そのためには医師会や医療保険者などへの理解促進が重要。
15	糖尿病医療スタッフ養成事業	10,000 9,875	増加する糖尿病の発症、重症化、合併症予防のため、適切な医療や療養指導を提供できる医療スタッフを養成する。	
	健康づくり推進課	10,000		